令和８年度危険物取扱者試験日程

試験日	試験地	試験会場	集合時間・試験開始	試験の種類	複数受験	受付期間〔電子申請･書面申請共通〕
11月15日（日）	※A 木更津市	かずさアカデミアホール	①（集合時間）9時00分 （試験開始）9時30分	乙種第４類		9月14日（月）～ 10月5日（月）
			②（集合時間）12時30分 （試験開始）13時00分			
			③（集合時間）15時30分 （試験開始）16時00分			
	勝浦市	国際武道大学	（集合時間）9時30分 （試験時間）10時00分	甲種 乙種全類 丙種	2種類 または 3種類 （乙種第4類除く）	
11月21日（土）	※B 館山市	館山市コミュニティセンター	①（集合時間）9時30分 （試験開始）10時00分	甲種 乙種全類 丙種	2種類 または 3種類 （乙種第4類除く）	9月14日（月）～ 10月13日（火）
			②（集合時間）13時30分 （試験開始）14時00分	乙種第４類		
	銚子市	千葉科学大学	（集合時間）9時30分 （試験時間）10時00分	甲種 乙種全類 丙種	2種類 または 3種類 （乙種第4類除く）	
12月5日（土）	※C 千葉市	敬愛大学 稲毛キャンパス	①（集合時間）9時00分 （試験開始）9時30分	甲種 乙種全類 丙種	2種類 または 3種類 （乙種第4類除く）	9月14日（月）～ 10月20日（火）
			②（集合時間）13時00分 （試験開始）13時30分	乙種第４類		
令和9年 3月6日（土）	※D 千葉市	敬愛大学 稲毛キャンパス	①（集合時間）9時00分 （試験開始）9時30分	甲種 乙種全類 丙種	2種類 または 3種類 （乙種第4類除く）	12月21日（月）～ 1月18日（月）
			②（集合時間）13時00分 （試験開始）13時30分	乙種第４類		
	銚子市	千葉科学大学	（集合時間）9時30分 （試験時間）10時00分	甲種 乙種全類 丙種	2種類 または 3種類 （乙種第4類除く）	

※A　受験者数により③試験開始16時00分の場合も有り。
※A、B、C、D　乙種第4類の試験時間の選択はできません。受験票での確認となりますが、どちらの指定を受けても良い状態で出願してください。
特別な理由があり時間指定希望の方は、願書受付中に千葉県支部へご連絡ください。受験票が届いてから、または事前処理の受験番号決定後は、いかなる場合でも変更はできませんのでご了承ください。

○ 電子申請：受付開始日の9時00分から受付終了日の23時59分まで〔24時間対応。ただし、毎週土曜日午前1時から午前5時はシステムメンテナンスのため申請不可。〕
○ 書面申請：受付終了日の消印有効〔受付期間中に千葉県支部へ直接持参または郵送（特定記録郵便・締切日の消印有効）〕

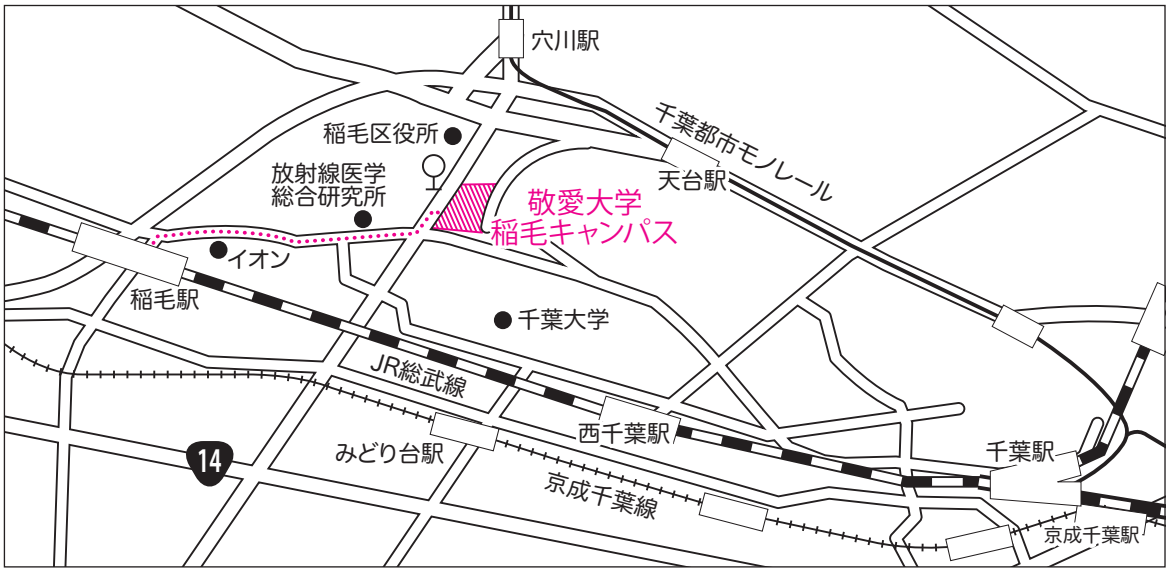
願書受付は定員に達した場合、受付期間内でも早く締め切る場合がありますのでご了承ください。その場合はホームページに掲載いたします。

試 験 会 場 案 内 図

（各試験会場の学校等には電話照会をしないでください。）

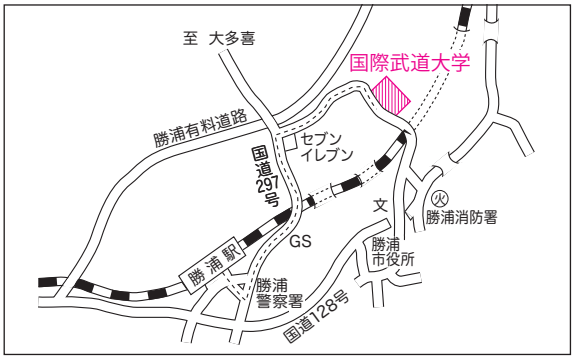
敬愛大学 稲毛キャンパス 駐車禁止

千葉市稲毛区穴川1-5-21　　JR総武線「稲毛」駅下車　東口より　徒歩13分
京成千葉線「みどり台」駅下車　徒歩15 分
JR総武線「稲毛駅」下車　東口より　バス「敬愛大学」下車（2番乗り場　山王町行き）



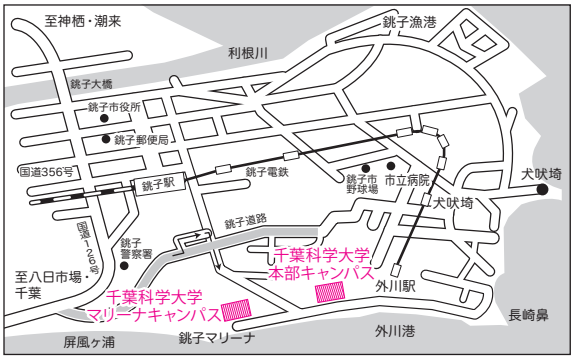
国際武道大学 駐車禁止

勝浦市新官841番地



千葉科学大学 駐車禁止

マリーナキャンパス：銚子市潮見町15-8
本 部 キ ャ ン パ ス：銚子市潮見町3

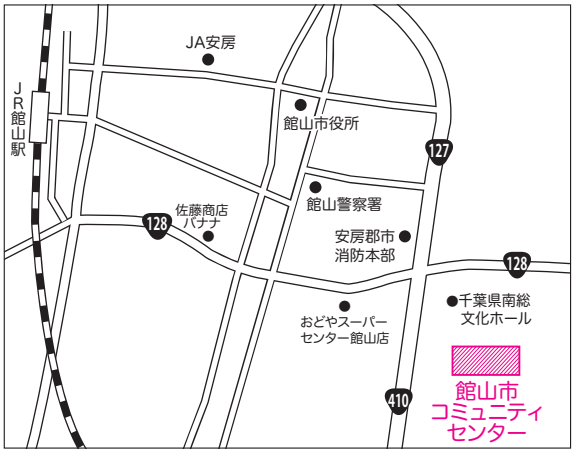


かずさアカデミアホール 駐車場有

木更津市かずさ鎌足2-3-9
JR木更津駅より路線バス約25分、タクシー約15分

館山市コミュニティセンター

館山市北条740-1
JR館山駅下車　徒歩20分



試験会場はすべて禁煙です

令和８年度
危険物取扱者試験　試験案内

受験手続は、電子申請（インターネット申込み）をぜひご利用ください。

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします。

お　問　い　合　わ　せ

受験申請に関するお問い合わせ先は次のとおりです。
書面申請／043-268-0381　電子申請／0570-07-1000（有料）
【受付時間：9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く。）】

○ 試験案内は、当センターのウェブサイトでもご覧いただくことができます。

一般財団法人消防試験研究センター
千葉県支部

受験手続きから合格後の免状交付申請手続きまでの流れ

書　面　申　請

受験願書の記入・作成
（願書は試験種類ごとに作成します。（P11～13の記入例を参照）

↓

試験手数料の払込
（P6～）

↓

受験願書の提出
（当支部へ郵送又は持参）

↓

受験票の受け取り
（試験日の10日位前に当支部から郵送します。）

電　子　申　請

当センターホームページから入力申請
https://www.shoubo-shiken.or.jp/

↓

試験手数料の払込
（P6～）

↓

受付完了メールの受信
（試験手数料の入金確認後に送信します。）

↓

受験票ダウンロード可能メール受信
（試験日の10日位前にメールを送信します。）

↓

受験票のダウンロード・印刷
（受験票は受験者が印刷します。当支部からは郵送しません。）

↓

受験票への写真貼付（P8）
（受験票に規定の写真を貼ります。）

↓

試　験　日
（写真を貼った受験票がないと受験できません。）

↓

試験結果通知書受け取り
（当支部から郵送します。ホームページには合格者の番号を掲示します。）（P9）

↓

合格者は免状交付申請
（当支部へ郵送又は持参）（P9～10）

↓

免状の交付

消防法（昭和 23 年法律第 186 号）第 13 条の 5 第1項の規定により千葉県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1　試験種類別の試験科目、問題数及び試験時間

種　類	試　験　科　目	問題数	合計	試験時間
甲　種	① 危険物に関する法令	15 問	45 問	2 時 間 30 分
	② 物理学及び化学	10 問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	20 問		
乙　種	① 危険物に関する法令	15 問	35 問	2 時 間 00 分
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学	10 問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	10 問		
丙　種	① 危険物に関する法令	10 問	25 問	1 時 間 15 分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識	5 問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	10 問		

2　試験の種類

危険物取扱者試験は、危険物の取扱い作業の保安に関して必要な知識及び技能について行います。

試験の種類		取り扱うことができる危険物の品名
甲　種		すべての種類の危険物
乙種	第 1 類	1　塩素酸塩類　2　過塩素酸塩類　3　無機過酸化物　4　亜塩素酸塩類　5　臭素酸塩類 6　硝酸塩類　7　よう素酸塩類　8　過マンガン酸塩類　9　重クロム酸塩類 10　その他のもので政令で定めるもの　11　前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 2 類	1　硫化りん　2　赤りん　3　硫黄　4　鉄粉　5　金属粉　6　マグネシウム 7　その他のもので政令で定めるもの　8　前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの 9　引火性固体
	第 3 類	1　カリウム　2　ナトリウム　3　アルキルアルミニウム　4　アルキルリチウム 5　黄りん　6　アルカリ金属（カリウム及びナトリウムを除く）及びアルカリ土類金属 7　有機金属化合物（アルキルアルミニウム及びアルキルリチウムを除く） 8　金属の水素化物　9　金属のりん化物　10　カルシウム又はアルミニウムの炭化物 11　その他のもので政令で定めるもの　12　前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 4 類	1　特殊引火物　2　第 1 石油類　3　アルコール類　4　第 2 石油類　5　第 3 石油類 6　第 4 石油類　7　動植物油類
	第 5 類	1　有機過酸化物　2　硝酸エステル類　3　ニトロ化合物　4　ニトロソ化合物 5　アゾ化合物　6　ジアゾ化合物　7　ヒドラジンの誘導体 8　その他のもので政令で定めるもの　9　前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
	第 6 類	1　過塩素酸　2　過酸化水素　3　硝酸　4　その他のもので政令で定めるもの 5　前各号に掲げるもののいずれかを含有するもの
丙　種		ガソリン、灯油、軽油、第 3 石油類（重油、潤滑油及び引火点 130℃以上のものに限る）、 第 4 石油類及び動植物油類

甲種及び乙種危険物取扱者は、自分自身で危険物の取扱いができるとともに、自分が立ち会うことによって、他の人に危険物を取扱わせることができます。丙種危険物取扱者は、特定の危険物（ガソリン、灯油等）に限り自分自身で取扱うことができます。

3　甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

〔証明書類は全てコピー可〕

対　象　者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証　明　書　類
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（P15 参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学･短期大学･高等専門学校･高等学校･中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書 （学科等の名称が明記されているもの）
〔2〕 大学等において化学に関する授業科目を 15 単位以上修得した方（P15 ～ 17 参照）	大学、短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に入る）、大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15 単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 （修得単位が明記されているもの）
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が 2 年以上の方	実務 2 年	乙種危険物取扱者免状 及び 乙種危険物取扱実務経験証明書（願書２枚目裏）
	次の 4 種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ①　第 3 類（必須） ②　第 5 類（必須） ③　第 1 類又は第 6 類のどちらか 1 つ ④　第 2 類又は第 4 類のどちらか 1 つ	4 種類	乙種危険物取扱者免状
〔4〕 修士・博士の学位を有する方（P15 参照）	学校教育法第 104 条の規定により修士又は博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位も含む）	学　位	学位授与証明書等、学位記、修了証書又は修了証明書 （学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの）

〔備考〕

1　[1] の大学において化学の学科等を卒業した方で 15 ページの学科の記載があれば、大学の卒業証書コピーまたは卒業証明書の提出をしてください。（大学院の学位記等でなくてもよい。）
2　[1] の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が 2 年以上のものに限ります。
3　[1]、[2] の専修学校については、修業年限 2 年以上、総授業時数 1700 時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の（1）又は（2）の内容が掲載されている場合は、次の（1）又は（2）の書面は不要です）
（1）専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
（2）専修学校の専門課程の修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が 1700 時間以上であることを証明する書面（17 ページの書式例 1 を参照してください。）
4　[2] の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわりなく算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
複数の大学において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
5　[2] の「単位修得証明書」は、17 ページの書式例 2 を参照してください。
6　[3] の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のＢ面裏の様式を使用してください。
7　旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
8　過去のいずれかの支部で甲種の試験を受験した時の受験票（電子申請の場合は受験票（控））又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます。（コピー可）
9　「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
10　証明書類が外国語の場合は、日本語訳を添付してください。

4　乙種危険物取扱試験

（1）受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

（2）試験科目の一部免除

乙種危険物取扱者試験における試験科目の一部免除については、下表のとおりです。

免除資格者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合　計	試験時間	証明書類
乙種免状の所持者	全　類	① 法　　令	全部免除	0 問	10 問	35 分	免状のコピー
		② 物理化学	全部免除	0 問			
		③ 性質消火	——	10 問			
火薬類免状の所持者	第 1 類 第 5 類	① 法　　令	——	15 問	24 問	1 時間 30 分	免状のコピー
		② 物理化学	一部免除	4 問			
		③ 性質消火	一部免除	5 問			
乙種免状と火薬類免状所持者	第 1 類 第 5 類	① 法　　令	全部免除	0 問	5 問	35 分	免状のコピー
		② 物理化学	全部免除	0 問			
		③ 性質消火	一部免除	5 問			

〔備考〕火薬類免状は、次の免状を意味します。

◇甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

◇甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

5　丙種危険物取扱者試験

（1）受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

（2）試験科目の一部免除

丙種危険物取扱者における試験科目の一部免除については、下表のとおりです。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合　計	試験時間
5 年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第 51 条第 4 項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	危険物に関する法令	なし	10 問	20 問	1 時間 00 分
	燃焼及び消火に関する基礎知識	全問免除	0 問		
	危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法	なし	10 問		
証明書類 （2 種類必要・コピー可）	①　消防団員歴を証明する書類の原本（消防団長等が証明するもの） ②　消防学校の教育修了証の写し（消防学校長が証明するもの）				

6　試験の方法

（1）マークシートを使う筆記試験です。

（2）甲種・乙種試験については 5 肢択一式、丙種試験は 4 肢択一式です。

7　複数受験・併願受験

①同一会場の場合（複数受験）

乙種危険物取扱者免状を有する方に限り、他の乙種（乙種第 4 類を除く）を各会場とも 3 種類まで受験することができます。

②異なる試験日の場合（併願受験）及び試験時間が異なる場合

試験日又は試験時間が異なれば、それぞれの試験日・時間に受験することができます。

◎受験願書は、試験日・受験種類ごとにそれぞれ 1 枚ずつ作成し、同一封筒で申請してください。

8　書面申請に必要な書類等

（1）危険物取扱者受験願書　　（A4 版　2 枚複写）

受験する種類（乙種の受験者は、類）ごとに、願書が必要です。

配布場所　・県内各消防局、消防本部（予防課）
・各地域振興事務所
・（一財）消防試験研究センター千葉県支部

（2）振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書添付用（郵便局の受付局日附印のあるもの）

（7、12 ページを参照してください。）

（3）その他必要書類

甲種の受験者	受験資格を証明する書類（P 3.　3）
乙種の試験科目免除を受ける受験者	証明する免状のコピー（P 4.　4（2））
丙種の試験科目免除を受ける受験者	証明する書類のコピー（P 4.　5（2））
既に危険物取扱者免状を取得している方	危険物取扱者免状のコピー（表・裏）

◎　丙種の免状を取得している方も必ず免状のコピー（表・裏）を貼付してください。

9　電子申請に必要な書類等

（1）電子申請については、手続きされる際に、必ず（一財）消防試験研究センターのホームページ（https://www.shoubo-shiken.or.jp/）での説明をご覧ください。

なお、電子申請を予定されている団体の担当の方は、事前に千葉県支部にご連絡くださるようお願いします。

（2）受験資格証明書等のご準備

危険物取扱者免状以外の資格で、試験科目の一部免除を希望又は甲種危険物取扱者試験を受験する方は別表 1 等を参照し、証明書類を電子ファイル化（JPEG 形式又 PDF 形式）したものを申請情報入力画面に従ってアップロードしていただきますので、ご準備をお願いします。

証明書類が旧姓で現在の姓と一致しない場合、新旧の氏名が確認できる書類を証明書類と併せてアップロードしてください。（例：運転免許証（旧姓記載）、戸籍謄本、住民票等）

電子ファイル化に際しての留意事項
1　電子ファイル化は、 ①　デジタルカメラ・スマートフォンで撮影したもの又はスキャンしたもの ②　証明書類の全体が鮮明に確認できるもの ③　印影が欠けていないもの としてください。 2　証明書類を撮影する場合は、机等の平らな場所に置いて全体を写し、ピントを合わせて鮮明に撮影してください。 3　原本を確認させていただく場合がありますので、原本は保管しておいてください。 4　アップロードできるファイルサイズは合計 10 メガバイトまでです。 【ご注意】 ご自身の受験資格の有無は、必ず事前に本試験案内、ホームページでご確認ください。ご不明な場合は、当支部にお問い合わせください。

（3）注意事項

スマートフォンからも電子申請はできますが、願書情報の入力において、携帯電話会社の提供するメールアドレスやフリーメールアドレスを登録された場合は、携帯電話会社やフリーメール運営会社が行っている迷惑メール対策等により、当センターから送るメールが受信できないことがあります。詳細は、**（一財）消防試験研究センターホームページ（https://www.shoubo-shiken.or.jp/）をご覧ください。**

10　試験手数料

試験手数料（非課税）は次表のとおりです。

甲種	乙種	丙種
7,200 円	5,300 円	4,200 円

※　乙種を複数受験される方は、それぞれの乙種の受験料が必要です。
なお、振込みの際には払込手数料が必要です。

11　試験手数料の納付方法

（1）電子申請の場合

払込方法は、次の決済方法から選択できます。
（払込みには、所定の払込手数料（消費税込み）が必要になります。）

ア　ペイジー（Pay-easy）決済　※情報リンク方式、オンライン方式

イ　コンビニエンスストア決済（セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ（一部店舗を除く。））

ウ　クレジットカード決済（VISA、マスターカード、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナース）

エ　スマホ決済（PayPay、メルペイ）

※　一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て三井住友カード株式会社に業務委託しております。

（2）書面申請の場合（払込用紙で払込の場合）

ア　受験願書に同封の「払込取扱票」の金額欄に受験する試験に応じた試験手数料をご記入のうえ、郵便局又はゆうちょ銀行の窓口でお支払いください（ATM 機では払込まないでください。払込取扱票の「振替払込受付証明書（お客様用）受験願書添付用」に日附印が押印されていないと受験申請できません。また、千葉県支部窓口での払込みはできません。）。なお、払込手数料は申請者の負担となります。

イ　郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「振替払込受付証明書（お客様用）受験願書添付用」を受験願書 B 面（表）の指定の欄に貼り付けてください（本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」が貼り付けられている場合の申請は無効です。改めて「振替払込受付証明書（お客様用）受験願書添付用」を提出していただく必要があります。）。

「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」を発見し提出したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

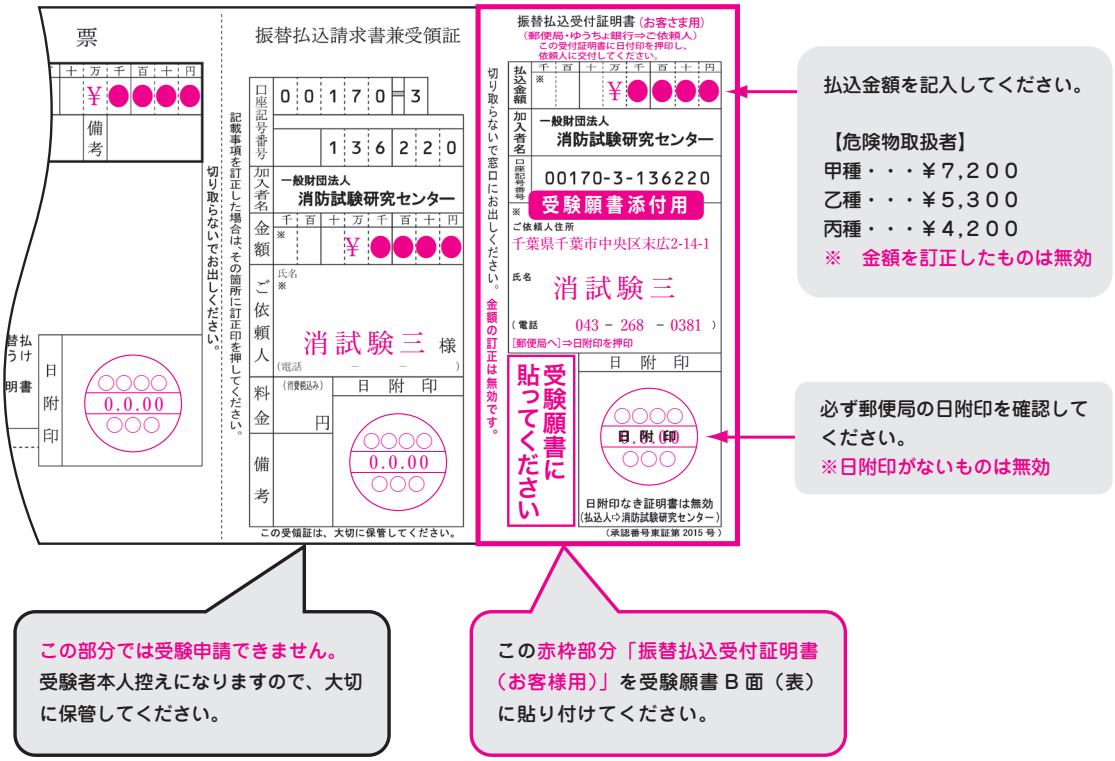
ウ　事業所等で、同時に多数の受験者がある場合は、受験料を一括して振り込んでも差し支えありません。
その場合は、受験願書手数料欄に、最初の受験者に総額の「**振替払込受付証明書**（お客さま用）**受験願書添付用**」を貼り、その他の願書には事業者等の名称と整理番号を記載し、併せて名簿の提出をしてください。

（3）書面申請の場合（受験願書 B 面の 2 次元コード経由で払込みの場合）

ア　払込方法は（1）電子申請の場合と同じ。
イ　決済完了後、決済完了メールに記載されている決済完了番号（18 桁）を受験願書 B 面の決済完了番号記入欄に記入してください。

（4）一旦払込された試験手数料はお返しできません。

【払込取扱票】（必ず当センター指定の払込取扱票を使用してください。）



12　受験票について

電子申請	試験日の 10 日位前までに、申請時に入力された電子メールアドレス宛に「受験票印刷可能メール」を送信します。受験者本人がダウンロードして受験票を印刷してください。なお、**印刷する際は拡大、縮小をしない**でください。
書面申請	試験日の 10 日位前までに郵送します。 受験票が試験日の 5 日位前までに届かない場合は、当支部へご連絡ください。

※試験の種類、科目免除に誤りがある場合
試験日直前の水曜日の 17 時までに当支部へ連絡してください。
受験票に記載されている内容は必ず事前にご確認ください。
試験当日の申し出にはいかなる場合にも応じられません。

13　試験当日に必要なもの　電子申請・書面申請共通

（1）写真　1 枚

下記に示す写真（縦 4.5cm ×横 3.5cm）又はパスポート規格の大きさとし、裏面に「撮影年月日、氏名、年齢、受験する種類」を記入してください。受験時の本人確認及び合格後の免状作成時に使用しますので、**試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。**
セロハンテープは使用しないでください。
不適切写真の場合、再提出を求める場合があります。

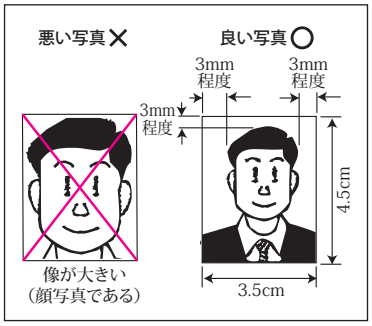


写真
1　カラー、白黒のどちらでも可（受験日前 6 か月以内に撮影された鮮明なもの）
2　無帽（申請者が宗教上又は医療上の理由により顔の輪郭を識別することができる範囲内において頭部を布等で覆う者である場合を除く。）、無背景、申請者本人のみが撮影され、正面上三分身像のもの
3　背景と頭髪の色が同系色でなく影がないもの
4　枠なしで、左記図の各寸法を満たしたもの
5　デジタルカメラで撮影された場合、ドット（網状の点）やにじみ等のない、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。
6　不適切写真例
表面にキズのある写真、サングラスやマスク着用、眼鏡フレームや眼鏡レンズの照明による反射、頭髪が目にかかっている、写真のコピー等は適合しません。

（2）受験票

ア　**受験票を持参しなければ受験できません。**
イ　**受験票に前 12（1）の写真を貼付していない又は貼付写真が不鮮明な場合は受験できません。**
ウ　受験票の氏名欄は受験者の氏名をかい書で記入してください。

14　その他の注意事項

（1）試験当日は、**受験票（写真の貼ってあるもの）**、鉛筆又はシャープペンシル（HB 又は B のもの）、**消しゴム**を必ず持参してください。
鉛筆又はシャープペンシル以外のものを使用してマークした場合、採点機で読み取れず 0 点となる場合がありますので、使用しないでください。
（2）**電卓、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。これらの電子機器類を時計として使用することはできません。**
試験中にこれらの機器を使用すると不正行為になります。
また、アラーム設定をしている方は設定を解除してください。
（3）**試験会場はすべて禁煙・駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。**
（4）試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは一切関係ありませんのでご注意ください。
（5）カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

15　合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験はいずれも、試験科目ごとの正答がそれぞれ60％以上必要です。（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く）。

なお、乙種第１類又は第５類の受験者で、火薬類免状による試験科目の一部免除を受けた場合は、免除されていない問題数で上記の基準を満たした方が合格となります。

【例示】（性質消火の場合）

	問題数	備考
甲種受験者の場合（すべて免除科目なし）	20問	正答12問で正答率60％達成
免除科目なしの乙種受験者と乙種既得免状あり受験者の場合	10問	正答　6問で正答率60％達成
火薬類免状による試験科目の一部免除を受ける場合	5問	正答　3問で正答率60％達成

16　試験結果の発表

（１）合格発表の日付は、試験当日会場でお知らせいたします。

（２）合否の結果は、受験者全員に郵便で直接通知いたします。
なお、試験結果の合否に関する電話での問い合わせ、試験問題等及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

（３）千葉県庁、千葉県の各地域振興事務所及び（一財）消防試験研究センター千葉県支部１階の掲示板に公示いたします。

（４）合格発表は、（一財）消防試験研究センターのホームページにも発表日当日の正午から掲載します。

17　免状交付申請の手続き及び注意事項

合格者は、（一財）消防試験研究センター千葉県支部あてに免状の交付申請を次により行ってください。

（１）試験結果通知書のうち**「危険物取扱者免状交付申請書」**の記載事項に誤りがないか確認し、誤りがある場合は赤字で必ず訂正し申請者氏名等を記入して、同申請書裏面の手数料欄に**「千葉県収入証紙」2,900円分**を貼り**「危険物取扱者試験結果通知書」**と一緒に（一財）消防試験研究センター千葉県支部あてに郵送または持参してください。
なお、「危険物取扱者試験結果通知書」は返却しません。必要な方は、コピーをお取りください。

◎　**印字されている内容で免状を作成します。**氏名、生年月日、本籍等変更がある場合は赤字で訂正してください。

◎　**郵送の場合は簡易書留**で郵送してください。

千葉県収入証紙　○各地域振興事務所　　○市役所・町村役場
詳しくは、千葉県ホームページ収入証紙購入場所
http://www.pref.chiba.lg.jp/suitou/shoushi/index.html をご覧ください。

（２）既に他の類の危険物取扱者免状を所有されている方は、免状交付申請時、所有されている免状を提出してください。
なお、危険物取扱者免状の紛失又は氏名、本籍の変更等があった場合、免状の再交付又は書換えが必要となります。

ア　既に交付されている免状（既得免状）は、申請書に添えて提出してください。
・既得免状について
免状を常時携帯しなければならない方は、当該免状コピー（表と裏）で提出してください。
この場合、新しい免状の交付は既得免状と引換えになりますので、窓口交付のみとなります。
よって、下記（3）の免状返送用封筒は不要です。

イ　氏名、本籍等の免状の記載事項に変更があった場合は、交付申請と同時に書換え申請が必要です。

ウ　以前に免状を取得されている方は、既得免状と同一の種類の免状の交付を重ねて受けることができません。

（３）郵送で免状を受領する方は、免状交付申請の際に返送用封筒（定形サイズ：長さ 14cm ～ 23.5cm、幅 9cm ～ 12cm）に、自分宛の住所・氏名を明記し※簡易書留郵便料金分の切手を貼付し、裏面には受験番号を必ず記入し、同封してください。（封筒作成例は下記参照）
なお、複数受験で２種類以上合格した方は、返信用封筒は１枚で、裏面に「**複数受験**」と書き、それぞれの受験番号を必ず記入してください。
※簡易書留郵便料金 460 円（令和６年 10 月１日改定）

（４）免状を直接窓口で受領を希望する方は、印鑑持参のうえ、（一財）消防試験研究センター千葉県支部までお越しください。その際、受験番号をお聞きいたしますので、控えて来てください。
交付の日時は、平日月曜日から金曜日（土曜日・日曜日・祝日を除く）の９時 00 分から 16 時 30 分までです。

（５）事業所等で一括して交付を受けようとする場合は、電話でご相談ください。また、免状枚数によって郵便料金が異なりますので、事前にお問い合わせください。

（６）免状交付日については、試験結果通知書に記載いたします。

（７）免状申請の手続きの注意事項

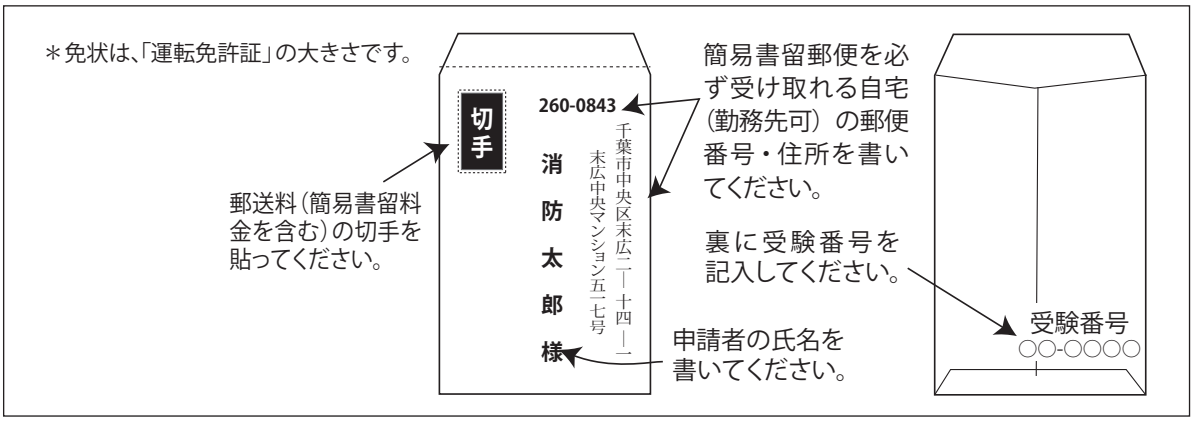
ア　千葉県で併願等で同じ種類、上位種類を合格された方、及び他県で同類・上位種類・他の種類を合格されている方は、申請するときに必ず（一財）消防試験研究センター千葉県支部にお知らせください。

※千葉県収入証紙が入手できない場合は現金でも受付けますので、現金（おつりのないよう）と上記書類のすべてを現金封筒に入れ、現金書留として送ってください。

イ　免状に旧姓併記を希望の場合は、事前に申請する千葉県支部にお問い合わせください。

ウ　試験日後６か月以上経過して免状申請する場合、新たに写真（4.5cm × 3.5cm）が必要です。

免状返送用封筒の作成例



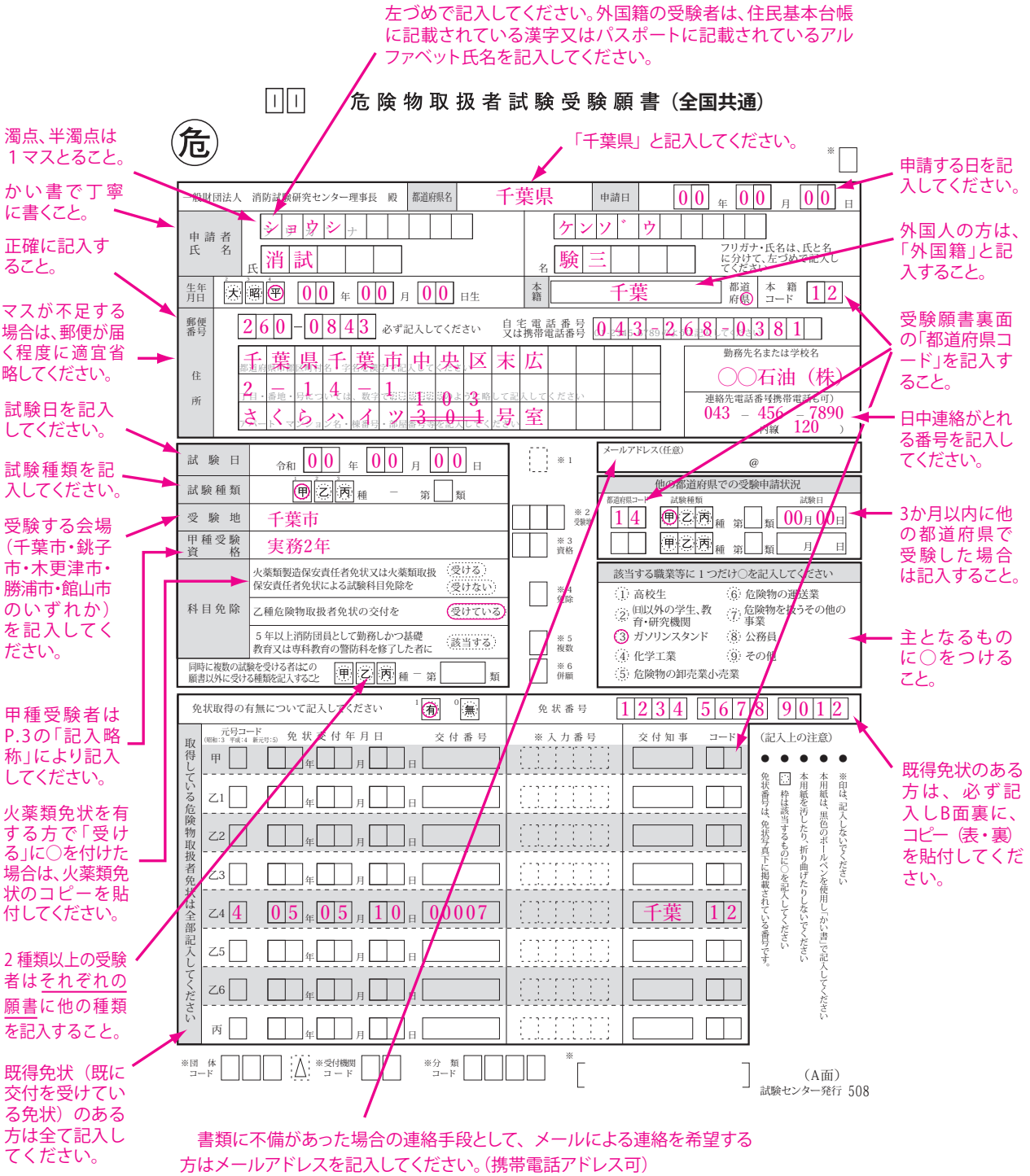
願書受付・問い合わせ先	**一般財団法人消防試験研究センター 千葉県支部** 〒 260-0843　千葉市中央区末広 2-14-1　ワクボビル３階 TEL 043-268-0381　FAX 043-268-0382

危険物取扱者試験受験願書〔記入例〕

◎　願書は必ず受験者本人がご記入ください。

◎　書き損じた場合は、横２本線を引いてその上方に正しくお書きください。

A 面



B 面表

様式第25（第57条関係）

危険物取扱者試験受験願書

※

一般財団法人　消防試験研究センター理事長　殿	都道府県名		申請日	年　月　日
申請者氏名	フリガナ			
生年月日	大・昭・平・令　年　月　日生	本籍		
郵便番号	□□□－□□□□	自宅電話又は携帯電話		
住所				内線（　　）

【郵便取扱振込票でお支払いの場合】
振込取扱票の赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼り付けてください。

試験日	年　月　日	※1
試験種類	甲　乙　丙　種　一　第　類	
受験地		※2 受験地
甲種受験資格		※3 資格
科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を（受ける）	※4 免除
	乙種危険物取扱者免状の交付を（受けている）	
	5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に（該当する）	※5 複数
		※6 併願

◎払込用紙で払込みの場合

ここに「振替払込受付証明書」をはってください。

「振替払込受付証明書受験願書添付用」を添付する。（必ず所定の払込用紙を使用してください。）

振替払込受付証明書（お客さま用）
（郵便局・ゆうちょ銀行・ご依頼人）
この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。

切り取らないで窓口にお出しください。金額の訂正は無効です。

払込金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ※ ¥●●●●
加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター
口座記号番号	00170-3-136220
	受験願書添付用
ご依頼人住所	千葉県千葉市中央区末広2-14-1
氏名	消試験三
（電話	043 - 268 - 0381）

［郵便局へ］⇒日附印を押印

受験願書に貼ってください

日附印

日附印なき証明書は無効
（払込人⇒消防試験研究センター）
（承認番号東証第2015号）

※受付欄

必ず郵便局の受付局日附印を確認してください。
※日附印がないものは無効

SAMPLE

願書識別番号：●●●●●●●●●●●●●

※受験番号

◎2次元コード経由で払込みの場合

下記の２次元コードで手数料の払込みができます。

- ２次元コードで手数料を払込む場合、払込用紙は使用しないでください。
- 払込み後は、**必ず受付期間内にこの願書を提出してください。**
  提出しないと受験できませんのでご注意ください。
- この願書と２次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。
- ２次元コード読み取り先の注意事項をよくお読みになり、試験日、受験地、試験種類を確認し、記入した願書情報と異なる試験を選択しないようにしてください。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア
ペイジー、PayPay、メルペイ

決済完了番号（１８桁）
※必ず決済完了番号を下欄に記入してください。

□□－□□□□□□－□□□－□□□□□□

【2次元コード経由でお支払いの場合】
電子決済後、決済完了メール文中にある18桁の「決済完了番号」を記入してください。

備考
1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　本籍の欄は、本籍地の属する都道府県名を記入すること。
外国籍の者は、「外国籍」と記入
3　※印の欄は、記入しないこと。

※団体コード

B 面裏

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「**振替払込受付証明書**」は貼付しないでください。

都道府県等コード表

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25	鳥取	31	香川	37	熊本	43
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	京都	26	島根	32	愛媛	38	大分	44
岩手	03	栃木	09	新潟	15	岐阜	21	大阪	27	岡山	33	高知	39	宮崎	45
宮城	04	群馬	10	富山	16	静岡	22	兵庫	28	広島	34	福岡	40	鹿児島	46
秋田	05	埼玉	11	石川	17	愛知	23	奈良	29	山口	35	佐賀	41	沖縄	47
山形	06	千葉	12	福井	18	三重	24	和歌山	30	徳島	36	長崎	42	外国籍	99

危険物製造所等における実務経験2年以上で
甲種を受験する方のみ必要です。

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	消試験三		平成0年0月0日生
取り扱った危険物	第 5 類	品名	有機過酸化物
取り扱った期間	00年0月0日から 00年0月0日まで （0年00ヶ月）		
製造所等の区分	・製造所 ・貯蔵所 ・取扱所		

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明年月日 00年0月0日

事業所名 ○○石油（株）

証明者 役職 代表取締役 印

氏名 △△ △△

電話 ××× － ××× －××××

甲種危険物取扱者試験を受験する方は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの。）を貼付して下さい（消防法第１３条の３第４項第１号及び第２号）。

該当するものに
○をつけてください。

事業所（会社等）の印

証明者の私印

両方
必要です。

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

危険物取扱者講習の状況

修了年月日	講習実施機関	証印
H 0.0.0	千葉県	千葉県知事

（備考）

危険物取扱者免状

氏名 消試 験三
生年月日 平成○年○月○日 本籍 千葉県

種類等	交付年月日	交付番号	交付知事
甲種			
乙種1類			
乙種2類			
乙種3類			
乙種4類			
乙種5類	H0.0.0	00000	千葉
類			
種			

写真の書換えは
○○○○年
○月○日まで
0000 0000 0000

印

危険物取扱者免状をお持ちの方は受験資格・科目免除に関係なく免状のコピー（表、裏）を貼ってください。

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

注意事項【重要】

1．次のものを貼付しても払込証明書として認められませんのでご注意ください。

・受付局日附印のないもの

・払込金額の記入がないもの

・払込金額を訂正したもの（間違った場合、新しい払込用紙を使用してください。）

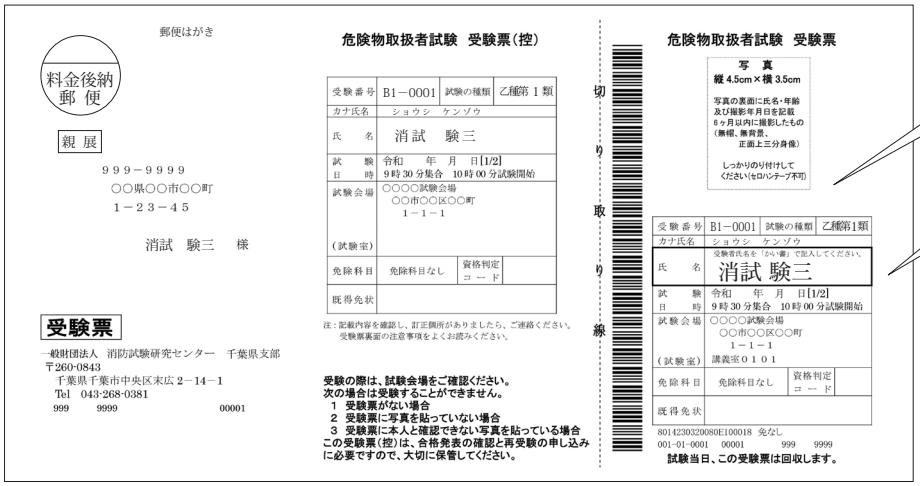
・本人控えの「振替払込請求書兼受領証」

・複写された郵便振替払込受付証明書

2．「振替払込受付証明書」を紛失されても当センターでは責任を負えません。紛失した場合、再度払込をしてください。

受験票〔試験日の10日位前までに郵送〕

試験当日、写真を貼って必ず持参してください。



試験当日、写真貼付した受験票を持参されませんと受験できない場合があります。

別表　1

化学に関する学科等の例

1　名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
（ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。（例）人類文化学科等）
2　次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質化学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表　2

化学の授業科目例

1　名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
（ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。（例）進化学等）
2　次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ	官能基変換論
	安全管理学	オ	応化・プロセス工学		化工物理学	キ	機器分析
	安全工学	カ	回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
エ	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学	サ	材料解析	セ	生体分子工学	テ	電解反応
	金属材料工学		材料開発工学		生体分子反応		電気材料学
	金属製錬学		材料科学		製鉄製鋼耐火物		電気電子材料科学
	金属組織学		材料加工学		生物機能開発学		電気電子材料学
	金属の相変態		材料強度学		生物機能工学		電極反応論
	金属表面処理		材料強度物性学		生物機能利用学		電子材料
	金属物性		材料結晶学		生物工学		電子物性
ケ	計算溶液特論		材料工学		生物資源科学		伝熱工学
	結晶回折		材料構造解析学		生物資源利用学	ト	同位体地球科学
	結晶材料工学		材料精製工学		生物反応工学		毒劇物学
	結晶評価工学		材料精密工学		生物物性学		特殊機能セラミック
	原子エネルギー工学		材料組織学		生物分子科学		毒性学
	原子核工学		材料組織形成論		生物薬学		毒物学
	原子力工学		材料熱力学		精密材料物性		土壌学
	原子炉材料学		材料反応学		精密素材工学		塗装学
	原子炉燃料		材料物性学		精密分離工学		塗料工業科学
コ	高温材料		材料物理工学		精密有機合成特論	ニ	ニューセラミック学
	高温反応工学		材料プロセス設計		製薬学	ネ	燃焼学
	光学活性体合成論		錯塩基及び酸化還元		生理活性物質学		燃焼工学
	高機能材料特論		産業廃水処理		精錬漂白論		燃焼熱工学
	高機能材料プロセス特論	シ	色彩工学		石油開発工学		燃焼物理科学
	工業火薬学		色染実験		石油生産工学		粘土工学
	工業材料		システム安全工学		接合学		燃料工学
	工業排水処理		焼結固体反応論		接着及び接着剤		燃料工業
	工業爆薬学		焼成材料		接着学		燃料燃焼潤滑論
	工業反応速度論		醸造学		セメント工学		燃料燃焼論
	工業微生物		醸造工学		セラミック科学		燃料分析学
	工業分析		醸造工業概論		セラミック基盤材料	ノ	農薬学
	格子欠陥		状態方程式特論		セラミック工学	ハ	バイオテクノロジー
	公衆衛生学		触媒工学		セラミック材料学		バイオプロセス工学
	高重合反応		触媒設計		セラミック概論		培養工学
	合成鉱物		触媒反応工学		セラミック材料工学		爆発工学
	抗生物質		食品衛生学		セラミック電子材料		薄膜材料工学
	厚生薬学		食品栄養学		セラミックプロセシング		醗酵学
	合成薬品製造学		食品科学		セルロース科学		醗酵工学
	構造用金属材料		食品工学		繊維高分子工学		醗酵工業論
	酵素利用学		食品工業微生物学		選鉱学		醗酵生産学
	鋼中非金属介在物		食品分析学		先端材料物性特論		パルプ学
	鉱物学		植物分子生物学	ソ	相平衡論		パルプ工学
	高分子科学		人工結晶		相変態論		半導体工学
	高分子学		人造繊維工学		素材工学		半導体材料
	高分子工学		新薬論	タ	耐火物概論		半導体デバイス工学
	高分子合成	ス	水質学		耐熱材料特論		反応工学
	高分子構造	セ	製剤学		多結晶材料工学		反応性物質材料
	高分子固体構造論		製剤工学		単位操作		反応操作
	高分子コロイド科学		製紙科学		単位反応学		反応速度論
	高分子材料学		製紙学		単結晶材料工学	ヒ	非金属材料
	高分子反応		製紙工学		蛋白質工学		非晶質科学
	高分子物性論		製造薬学	チ	超高温材料		微生物遺伝学
	固相変態論		生体機能工学		調剤学		微生物学
	固体反応		生体機能電気科学	テ	鉄鋼材料学		微生物機能学
	固体表面科学		生体機能利用学		鉄鋼表面処理		微生物工学
	固体物性論		生体工学		鉄冶金		非鉄材料学
	固体平衡論		生体高分子学		定性分析		非平衡論
	コロイド学		生体触媒学		定量分析		表面・界面工学
サ	細胞培養学		生体光反応学		電解製錬工学		表面工学

ヒ	表面分析	フ	分子解析学	ム	無機材質学	ユ	有機金属
	肥料学		分子機能		無機材料工学		有機構造解析
フ	ファインケミカル工業分析		分子機能設計学		無機電子制御反応		有機材料工学
	複合材料機能学		分子構造論		無機薬品製造学		有機材料工業論
	腐食及び防食学		分子シミュレーション特論	メ	免疫薬剤学		有機材料設計
	物質移動プロセス特論		分子情報計測学	モ	木材化工学		有機材料表面科学
	物質科学		分子生物科学		木材成分学		有機材料物性
	物質工学		分子生物学		木材糖化論		有機材料レオロジー
	物質構造解析論		分子設計論		木質材料学		有機電解合成論
	物質構造論		分子素材工学		木質資源化工学		有機反応機構
	物質生科学		分子熱力学		木質資源工学		有機反応論
	物質生物工学概論		分子微生物学	ヤ	冶金学		有機分析学
	物質プロセス工学		分子薬理学		冶金工学		有機薬品製造学
	物質分析法		粉体工学		冶金反応工学		融体物有機材料電子物性
	物性科学		分離科学		薬科学	ヨ	窯業工学
	物性予測論		分離工学		薬学		窯炉工学
	物性論		分離システム工学		薬剤学	リ	粒子線結晶学
	物体学		分離装置工学		薬品学		量子分光学
	物理薬学		粉粒体工学		薬品工業概論		量子力学
	プラントエンジニアリング	ヘ	平衡論		薬品製造学		林産学
	プロセス工学		平衡・反応論		薬品製造工学		林産工学
	プロセスシステム工学	ホ	放射線計測学		薬品分析学		林産製造学
	プロセス制御工学		放射線物性計測学		薬物学		林産物製造学
	プロセスダイナミックス	マ	膜機能工学		薬用植物学		臨床薬学
	プロセス熱力学		マテリアル工学		薬理学		臨床薬理学
	分光分析	ミ	水処理工学		薬効学	レ	レオロジー
	分散系物性学		水処理実験	ユ	有機機器分析		
	分子遺伝学		水の分子工学特論		有機機能性材料		

書式例１　専修学校用受験資格証明書

○○第　号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

○○　年　月　　日　入学　○○科○○コース

○○　年　月　　日　修了

氏名　　○○　○○

年　月　日　生

学校教育法第 124 条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 ○○　年　月　　日　　号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年限	2　　年
課程の修了に必要な総授業時数	１７００時間

上記のとおり証明する。

年　月　　日

（専修学校の所在地）

○○専門学校　学校長　　氏名　○○　○○ 印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例２　単位修得証明書

○○第　号

単位修得証明書

○○　年　月　　日　入学　○○部　○○科

○○　年　月　　日　修了

氏名　　○○　○○

年　月　日　生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有　機　化　学	4	高分子化学	2
無　機　化　学	4	分析化学	2
燃　焼　工　学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年　月　　日

○○大学　学長　　氏名　○○　○○ 印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。
《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

注意

◆ 千葉県支部で実施する試験の願書以外は受付られません。

◆ 会場には定員があるため、受付期間中であっても早めに締切る場合がありますのでご了承ください。

◆ 受付期間を過ぎてから提出された受験願書及び記載事項等に不備がある受験願書は受理できません。
この場合は受験申請書類を申請者負担で返却いたします。

◆ 試験当日における車椅子での来場、拡大鏡や補聴器の使用など、受験に際して特別な措置を希望される場合は、事前、又は受験願書提出時までに当支部へ申し出てください。

◆ 書面申請は受付締切日以降、電子申請は申請の受付完了以降の、「試験日」・「試験の種類」等、**申請した内容の変更及び取消はできません。**

◆ 当センターで受理された受験申請書類等はお返しできません。

◆ 出願後、試験日程についてお電話にてご連絡をさせていただく場合があります。
願書には必ず日中連絡可能な電話番号の記入をお願いいたします。

◆ 台風その他の事故等により、会場変更及び中止又は延期等が生じる可能性があります。
その際は、当センター千葉県支部のホームページに掲載いたしますのでご確認ください。
特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに提示します。

◆ （一財）消防試験研究センター千葉県支部は試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書の販売等は一切行っておりません。

◆ **この試験案内は、受験申請から免状交付までの手続きが詳しく掲載されていますので、免状交付申請時まで大切に保管してください。**

―個人情報の取り扱いについて―

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1　当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

⑴　個人情報の内容
氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、顔写真、メールアドレス等です。

⑵　利用目的
利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、免状交付申請書、受験票への表示、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2　当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。
その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。
なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

2026 年 3 月作成